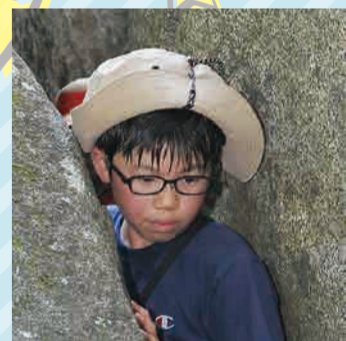


カブト虫

茨城県日立市立日高小学校 四年 渡辺 友仁

ぼくは、二年前の夏のキャンプの時、初めて小さなカブト虫を自分でつかまえました。足もとをよく見ると、あおむけになって足がぴくぴく動いていました。ぼくは、そのカブト虫をつかまえてさうと虫ごの中に入れてました。初めはもがいていましたが、だんだんおとなしくなっていました。家に持ち帰ると、カブト虫は死にそうでした。すぐに、この虫セリをあけたら、少し元気になるよかったです。今までぼくは、バッタやイモリをかくても、ちゃんと世話をしなくて、死んでしまったので、また心配になりました。何日かして、おわかれの日が来ました。ぼくの中で、このままかいたい気持ちで、死んでしまうのがいやなので、放したい気持ちがあつていました。ぼくは、よくカブト虫の事を考えました。毎日同じ空間で、ぼくもいつも同じセリ。トイレとぼんが同じ場所。せまくて登り木も細い。そんな事を考えているだけで、カブト虫がかわいそうに悲しくなりまして。ぼくがだつたら住みたい所は、毎日ちがう所に行きたい。ぼんのおかすは毎日ちがう、トイレはぼんとおかすの場所。ぼんが、登り木は太いのがいいです。それなのに、このカブト虫は、まるでけいむ所にいるみたいだと思いました。やつぱり自然のほうがいいんだなあと、庭のぼんにカブト虫をそとにまらせてやりました。でもぼんの中そこまわっていました。次の日、ぼんが「うー」と言うようにゆくりと大空に飛び立っていました。

あれから二年たちますが、今もその時の事をよくおぼえています。今でも虫は大すきですが、虫の事を考えてキャッチアンドリリースをしています。まだかんきょうなどむずかしい事は分かりませんが、今のぼくにできる事は、自然の物は自然にかえすことだと思っています。



ツアーニックネーム **ともくん**



日本の自然は

ぼくは、毎日々森を通じて学校に通っています。森に入ると、鳥のさえずりや虫の音が聞こえ、ねずみやモグラもときどき顔を出します。森には、たくさんのお動物が住んでいます。暑い夏は木々のかげで、ひんやりせずして、寒い冬には、枝と葉が雪や風を防いでくれます。空気をキレイにしてくれるのも木です。こんな自然が、なくなっていくのはとてもさみしいです。そして自然がなくなると困るのは、鳥や動物たちだけでなく人間だとも思います。

「カアカリッパタバタバタ」鳥たちが、さわぎ立てながら遠くへへとんで行く。ブルドーザーが大きな音をたてながら、ものすごいスピードで森をけずっていく。ぼくが両手を大きく広げても、まだかかえきれないほどの大きな木が、次々となぎたおされていく。ぼくは、こんな風景を何度も見ました。

木がなえ木から立派な森になるまで、何百年もの年月がかかるのに、たった数日で大きく立派な森がなくなっています。人間が便利で快適な生活を求める一方で、森や自然がものすごいスピードで失われています。

ぼくは毎日、森を通じて学校に通っています。森に入ると、鳥のさえずりや虫の音が聞こえ、ねずみやモグラもときどき顔を出します。森には、たくさんのお動物が住んでいます。暑い夏は木々のかげで、ひんやりせずして、寒い冬には、枝と葉が雪や風を防いでくれます。空気をキレイにしてくれるのも木です。こんな自然が、なくなっていくのはとてもさみしいです。そして自然がなくなると困るのは、鳥や動物たちだけでなく人間だとも思います。

ぼくは弟といっしょにどんぐりを拾って集めています。そのどんぐりを土にうめると、芽が出てなえ木になることを知りました。子どもは、木を増やすことができます。日本には災害によって自然が失われたままの所がまだたくさんあります。そんな場所がこのなえ木を植えて自然を取りもどすことが出来たらいいと思います。ぼくの小さな力だけで、日本の自然を守り、大切にしていきたいです。



ツアーニックネーム **ひなっち**



南三陸探検記

2016年7月26～29日
ネイチャーキッズ特派員
古河市立中央小学校
五年 奥山 陽向

モアイ像のひみつ

はるか遠くチリ共和国のイースター島より復興と希望の証として南三陸町に本物モアイ像が送られてきました。

震災について

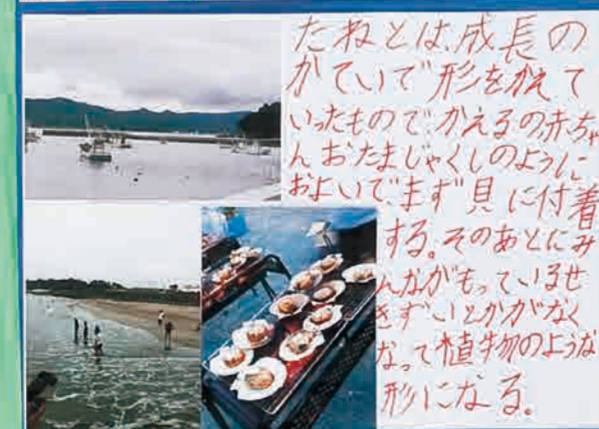


この防災庁舎におきた。

南三陸町は山も海もあり自然がたくさんある町です。自然の美しさや自然の恵みを感じると共に、自然の力の大きさやつわさも知りました。

海のひみつ ～南三陸のホヤ～

ホヤの中心にはカサのからがあります。たねのつぎをしたやつを丸2年間つける。



自然について

巨石はたてにいっぱい。そして目が入るとおび人が通りぬけられるほどの大きさです。おび人は、おび人の場と見れば、おび人がおび人を怖れ、おび人がおび人を怖れ、おび人がおび人を怖れている。

新南三陸タイム

南三陸は日本有数のクコの産地！

宮城県の北東部に洋山海あり、東は太平洋、南は山が一体となつて自然にめぐまれている所です。人口13000人くらい。

シュノーケリングの準備

シュノーケリングの準備は、マスクとフィン、そしてシュノーケリングの準備。シュノーケリングの準備は、マスクとフィン、そしてシュノーケリングの準備。



ここは入谷といひます。入谷では田畑がやして生活しています。入谷の人は、自分の食料は自分で作っているんだそうです。

はたて
この田のようには、ひらひらの部分はない。目はあまり見えないけれど、センサーの上になつています。ときに、見つかた時は、一瞬で水をすいこんで、ジュッ。ふんふんといひます。

ともくん

日立市立日高小4年わたなべ友仁